

令和7年度ひろしまサンドボックス広報業務 公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

令和7年度ひろしまサンドボックス広報業務に係る企画提案公募に対し、民間事業者から提出された提案書等の内容について、広島県商工労働局産業振興施策公募型プロポーザル選定委員会において、次のとおり審査した。

項 目		内 容
1	日 時	令和7年3月26日 9:00～10:30
2	場 所	オンライン
3	出席委員	商工労働局イノベーション環境整備担当部長 総務局広報課デジタル・ディレクター 商工労働局商工労働総務課長 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（イノベーション環境整備担当） 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（地域産業デジタル化推進担当）
4	議 題	令和7年度ひろしまサンドボックス広報業務公募型プロポーザルの候補者の選定について
5	担当部署	商工労働局イノベーション推進チーム
6	開催方法	参集（オンラインにより実施）
7	議事内容	提出された企画提案書を基にプレゼンテーション審査を行い、選定委員会において審査の上、得点が最上位となった提案者を最優秀提案者として選定した。 1 提案者（最優秀提案社：◎） A社 株式会社広島リビング新聞社（◎） B社 株式会社広島経済研究所 2 各委員の主な評価・選定理由 【A社】 ○ サンドボックス事業の特徴を熟知した上で、ペルソナが網羅されており、それぞれのバックストーリーも想定するなど、詳細なペルソナ設定に基づき、具体的な広報戦略が示されている。 ○ 現行のサムネイルやタイトルの問題点をよく分析できており、目を引くものが提案されている。 ○ 提案内容は仕様書を十分に理解した上で構成されており、業務遂行体制も高く評価できる。プロモーション方法やKPI設定には現実性が感じられ、意欲的な姿勢がうかがえる。 ○ 具体案は提示しているが、成果を検証することまで想定されていない。PDCAサイクルで業務を改善する具体策も検討して欲しい。

		【B社】 ○ 漫画の活用やテーマを設定した取材の企画化など、これまでにない切り口であり、新たな手法による認知度向上に期待したい。 ○ 県内企業とのネットワークが強く、柔軟な取材対応が期待できる。 ○ ペルソナ設定が抽象的で、カスタマージャーニーの具体性に欠ける。 ○ 提案の経済紙を通じた企業情報の発信は安定感があるものの、SNSを通じた取組など、一般的な手法であり、既存の枠を打ち破る創意工夫に満ちた提案には不足を感じた。
--	--	---